

アントレプレナーシップ教育とは？

校長 渡辺 登

先日、市内幼稚園の運動会に招かれ、園児さんの競技の様子を見る機会がありました。そのうちの年長さんによる団体競技を少し紹介いたします。その競技は平均台や、鉄棒、跳び箱などの障害物を一列に並べ、並べられた障害物を一人ずつ走り、リレー形式で勝敗を競うというものでした。注目したのは練習の時からその障害物の順番をどう工夫したら勝てるかについて何回も試行錯誤があり、話し合いにより年長さんたちが並べ方を決めていたということです。競技の前には、大人の手を借りずに自分たちで考えた計画通りに赤白とも違った順番で障害物を並べました。競技は僅差で白組が勝ちましたが、白組の子たちの大喜びの様子、赤組の子たちの茫然自失の姿からも競技に掛ける真剣な気持ちが伝わってきて感動しました。

さて、今回は「アントレプレナーシップ教育」という言葉についてお伝えさせていただきます。「アントレプレナーシップ教育」とは、簡単にいうと「起業家教育」という意味です。しかし、小学校で扱うアントレプレナーシップ教育は、起業家を目指すわけではなく、

アントレプレナーシップ教育で育まれる「非認知能力」 ※「非認知能力」…主体的に生きていくための必要とされる力の総称	
①やり抜く力	目標に向かって粘り強く取り組むこと
②自己効力感	困難な課題でも自分ならできるという期待や自信
③自制心	自分の感情と行動をコントロールすること
④レジリエンス	精神的なダメージから立ち直ること
⑤表現力	自分の考えを明確に伝えること
⑥リーダーシップ	メンバーを率いて目標に向かわせること
⑦協調性	他者の意見を尊重し協力すること
⑧チームワーク	チーム全体で良い結果を出すことを自覚すること
⑨発想力・創造力	固定概念にとらわれずに新しいアイデアを生み出す
⑩課題発見力	複雑な状況から本質的な課題を見つけ出すこと
⑪課題解決能力	発見した課題を筋道をもって解決に導くこと

子どもたちが生涯にわたって主体的に生きていくための力（非認知能力）を養うための教育です。そして、近年、世界全体に自然災害や、紛争などの予期せぬ事態が頻発し、予測不可能な未来が予測できることから、子どもたちに対するアントレプレナーシップ教育が注目されています。主に児童会活動や学校行事の場面を中心として、学校教育全活動全体で取り組むことになっています。

先ほどの年長さんの競技の姿を見ていると、多くの非認知能力が育っていることが分かりました。私は改めて、「子どもに決めさせる、考えさせる」という行為の大切さを感じました。それは、おそらく大人が障害物の順番を決めていたら、子どもたちに育つ非認知能力はぐっと少なかっただろうと想像できるからです。そして、ちょっとした指導者側の工夫で子どもたちに非認知能力を育むことができることを実感しました。

暑さもようやく薄れ、スポーツの秋、学びの秋といわれるように、子どもたちが自分のチャレンジしたいことにじっくりと取り組める環境が整ってきました。秋は大きな行事が目白押しですが、前号のたよりでもお伝えしたとおり、「子どもが決める、考える」活動を軸に、成功体験・失敗体験を積むことで今回ご紹介した非認知能力を育てていきたいと考えています。

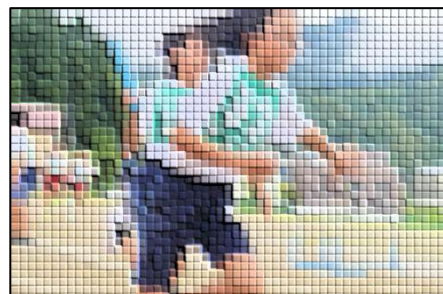


激走！魚沼市親善陸上大会（6年生）

9月26日（金）に、広神西小学校グラウンドにて、魚沼市親善陸上大会が開催されました。22日（月）には、1～5年生が準備した壮行会が開かれ、心温まる応援を受けていました。湯之谷小学校からは6年生が選手として参加し、天候が不順の中、精一杯競技に挑み、仲間の応援を受けながら一人一人が力走を見せました。たくさんの応援ありがとうございました。

〈入賞者一覧〉

女子 80M ハードル	5位	
男子 80M ハードル	3位	
女子 800M	5位	
男子 1500M	5位	
女子 走り高跳び	3位	
男子 走り高跳び	4位	
男女混合 4×100M リレー	4位	



男女混合リレーでのバトンパス

実りの秋！学校田のコシヒカリを収穫しました（5年生）

24日（水）にサンライス魚沼様からご協力をいただき、学校田のコシヒカリの収穫を行いました。当日はやや暑かったこともあり、子どもたちはタオルで汗を拭きながら、稲刈り鎌を使い、一束一束手で刈り取っていました。たわわに実ったコシヒカリの重さから収穫の喜びを感じていたようです。この後、サンライス様から乾燥などの作業をしていただきます。収穫したコシヒカリをどうしていくかについては、5年生が話し合っていて決めていく予定です。



穂先にはたわわに実ったコシヒカリが！

10月31日 縦割り班遠足中止について（お知らせ）

前号のおたよりでお知らせしました10月31日の大湯地区への縦割り班遠足ですが、魚沼市教育委員会等と協議の結果、以下の理由により、児童の安全を第一に考慮し、誠に残念ですが今年度の縦割り班遠足を中止することにしましたのでお知らせします。

〈理由〉

- ・新潟県内において、熊の目撃件数が過去最多だった2020年度の1957件を上回るペースで報告されていること（9/28現在）
- ・魚沼市内でも、今年度は例年よりも多く熊が目撃されていること
- ・全国的に熊の餌となるブナの実が凶作となっており、今後も熊の出没継続が予想されること
- ・魚沼市内において、全校児童が滞在できる目的地が他にないこと

代替行事につきましては、上記理由から今年度は全校遠足という形はとらずに、縦割り班活動を充実する形で代替します。次年度以降の縦割り班遠足の実施につきましては、関係の皆様と実施時期や方法等について協議して参ります。

この場をお借りしまして、準備にご協力いただきました大湯地区の皆様をはじめ、3コミュニティ協議会の皆様、学校運営協議会の皆様に御礼申し上げます。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

学校ホームページを更新しています。どうぞご覧ください→

